

1 調査の名称

高知県子どもの生活実態調査

2 調査の目的

高知県に住む厳しい環境にある子どもの実態を調査、分析すると共に、そこから明らかになる支援ニーズに対応する方策を検討し、こども計画の策定に反映する。

3 調査対象の範囲

(1) 地域的範囲

高知県内全域

(2) 属性的範囲 (■個人 ■世帯 □事業所 □企業・法人・団体 □地方公共団体 □その他)

小学校5年生及びその保護者

中学校2年生及びその保護者

高校2年生及びその保護者

4 報告を求める個人又は法人その他の団体

(1) 報告者数

約7,200人 (母集団の大きさ: 約33,000人)

(2) 報告者の選定方法 (□全数 ■無作為抽出 □有意抽出)

住民基本台帳を母集団情報として用い、市町村ごとに人口に比例して報告者数を割り当て、無作為に抽出した世帯情報による

5 報告を求める事項及びその基準となる期日又は期間

(1) 報告を求める事項 (詳細は別添の調査票を参照)

**【小学校5年生、中学校2年生、高校2年生の調査票】**

①個人属性に関すること

住んでいる地域

②生活に関すること

放課後の過ごし方、居場所、勉強以外の活動

食事回数や睡眠時間など

③社会的公共サービス等の利用に関すること

公的支援制度等の利用、学校の授業以外での勉強、

地域のスポーツクラブ等への参加など

(本調査には、意識等に関する事項も含まれる。詳細は調査票を参照)

**【保護者の調査票】**

①個人属性に関すること

住んでいる地域、続柄、婚姻状況、世帯人数、学歴、収入など

②生活に関すること

こどもの行動、経済的理由で世帯にないもの、公共料金等の不払いの有無など

③社会的公共サービス等の利用に関すること

公的支援制度等の利用、公的機関への相談など

(本調査には、意識等に関する事項も含まれる。詳細は調査票を参照)

(2) 基準となる期日又は期間

調査票記入日現在

6 報告を求めるために用いる方法

(1) 調査系統

高知県—委託業者（民間事業者）—報告者

(2) 調査方法

郵送調査     オンライン調査     調査員調査     その他（            ）

[調査方法の概要]

- ・市町村から住民基本台帳より無作為に抽出した世帯情報を提出してもらう。
- ・県が委託した民間事業者から対象世帯に質問用紙を送付。
- ・報告者は調査票配布時に掲示するURLから専用回答フォームにより提出する。
- ・オンライン回答できない報告者は調査票に記入し、民間事業者に郵送で提出する。

7 報告を求める期間

(1) 調査の周期

1回限り     毎月     四半期     1年     2年     3年     5年     不定期     その他（            ）

（1年を超える場合又は不定期の場合の直近の実施年：            年）

(2) 調査の実施期間又は調査票の提出期限

令和6年6月下旬～7月下旬